

# 定期火山情報

## 第 1 号

平成 1 4 年 1 月 1 0 日 1 0 時  
軽 井 沢 測 候 所 発 表

### 火山名 浅間山

#### 1 . 概況

1 2 月の浅間山は、前期間までと比べて地震回数がやや減少し、地震活動に  
とくに活発な状態は観測されませんでした。噴煙活動についても、噴煙量は比  
較的少ない状態で経過し、大きな変化はありませんでした。

1 月に入ってから、噴煙量は少ない状態が続いています。地震活動につい  
ては、1 日あたりの地震回数が 2 日～ 4 日は 5 0 回前後、そのほかの日も 2 0  
回前後と 1 2 月に比べて増加し、やや多い状態での推移となっています。

#### 2 . 遠望観測

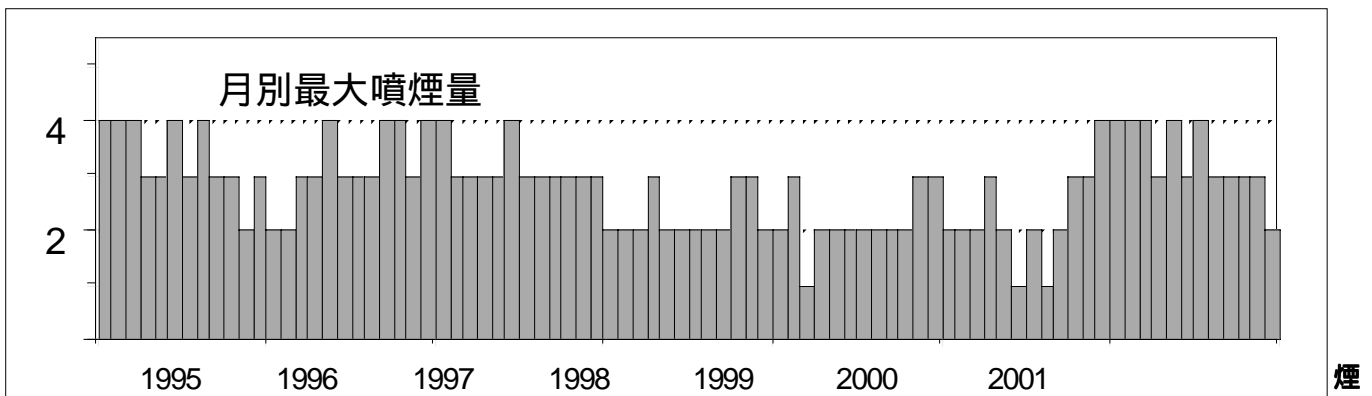
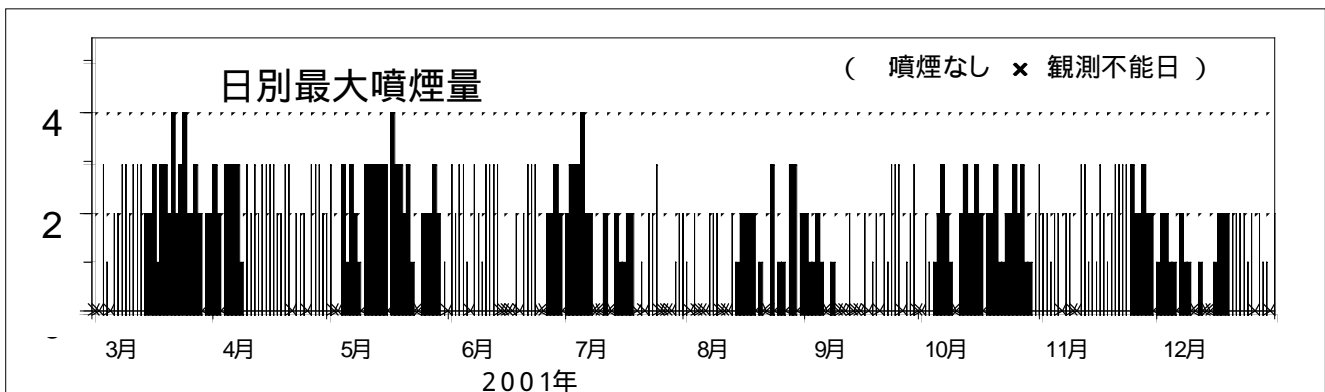
1 2 月は、悪天等のため山頂の見えなかった日が 8 日間ありました。

観測できた 2 3 日間のすべてに噴煙が観測されており、今期間も噴煙なしの  
日はありませんでした。観測の結果（日最大値）は次のとおりです。

噴煙の色：すべて白色。

噴煙の量：2（少量）が 1 3 回、その他はすべて 1（きわめて少量）。

噴煙高度：3 0 0 m が 2 回、その他は 2 0 0 m 以下。



量 3 は今期間中 0 回（1 1 月 9 回）で、月間の最大噴煙量が 2 以下となったの  
は、2000 年 9 月以来でした。

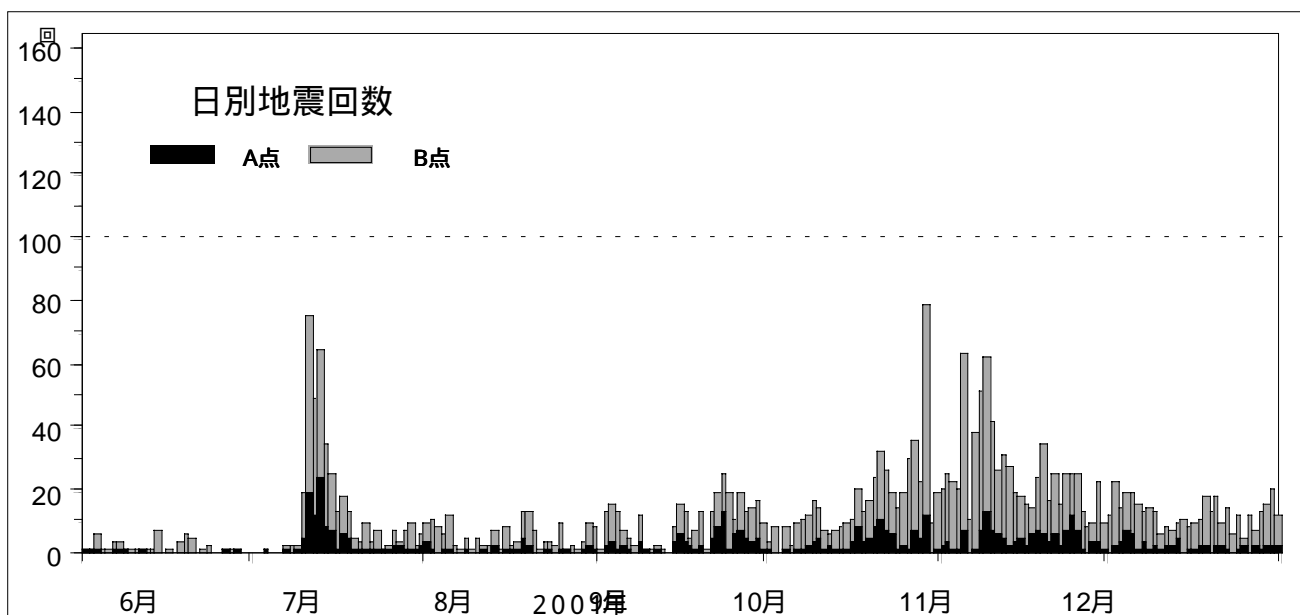
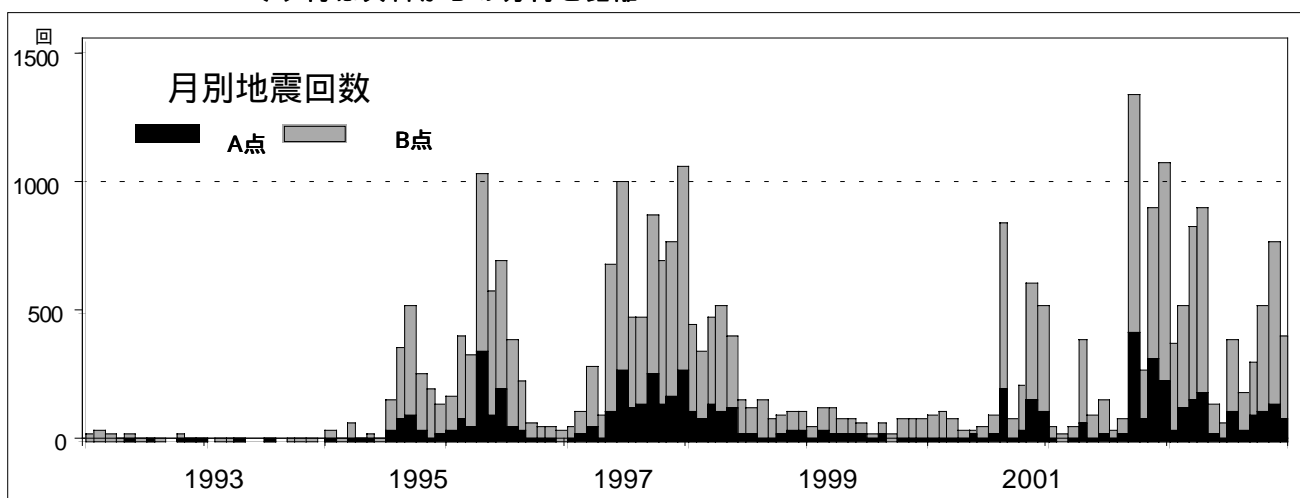
### 3. 震動観測

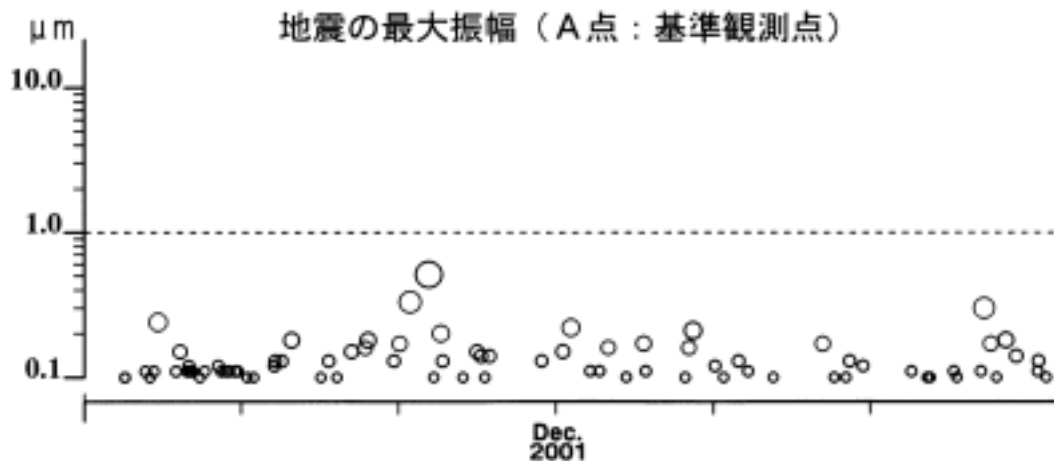
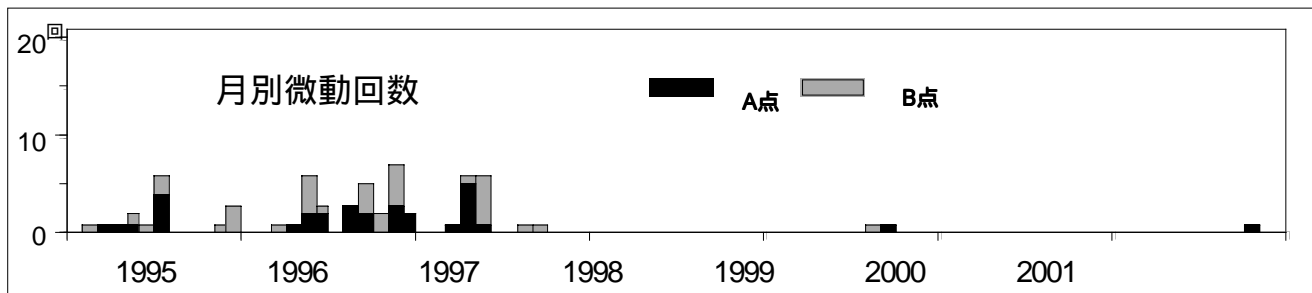
12月の地震回数は、月合計で見ると火口にもっとも近いB点では400回、基準観測点であるA点では80回で、10月(B点526回)、11月(B点776回)と、月合計500回以上のやや多い状態が続いたのに比べて減少したものとなりました。しかし、月合計が100回前後の低い活動レベルには戻

< 12月の各観測点の火山性地震・微動の回数 ( )内は微動回数 >

観測点	上旬	中旬	下旬	12月計	(11月計)
A点 [ SSE 3.8km ]	33(0)	23(0)	24(0)	80(0)	144(0)
B点 [ S 2.0km ]	153(0)	118(0)	129(0)	400(0)	776(0)
C点 [ SE 3.2km ]	112(0)	91(0)	97(0)	300(0)	583(0)
D点 [ N 3.2km ]	5(0)	4(0)	7(0)	16(0)	109(0)
E点 [ NE 2.0km ]	71(0)	54(0)	57(0)	182(0)	715(0)

( )内は火口からの方向と距離





っておらず、落ち着いた状態とまではいえません。

B点の日別回数でみると、20回以上となったのは3日間だけで、もっとも多かったのは2日の23回でした。これ以外は期間をとおして10回前後での経過となりました。10月下旬から11月にかけては20回前後かそれ以上のやや多い状態で推移したのに比べて、今期間内は平均してやや少ない状態となり、一時的急増といった活発化も観測されず大きな変化はありませんでした。

地震の大きさについては、期間をとおして規模のやや大きい地震は観測されませんでした。基準観測点であるA点の最大振幅は、もっとも大きいものでも0.5マイクロメートル(11日)で、これ以外はほとんどが0.2マイクロメートル以下のごく小さいものでした。

今期間内に震度1以上を観測する地震の発生はありませんでした。

また、火山性微動も今期間内には観測されませんでした。

#### 4. 現地観測

12月25日に浅間山周辺の湧水の水温、pH等の観測を実施しましたが、従来の観測値に比べて大きな差異はなく、各観測点ともとくに異常は認められませんでした。

<備考：次回の定期火山情報は、2月12日(火)の発表予定になります。>